

## 1. 概要

令和3年7月2日（金）～同年7月30日（金）の期間、プラスチック資源の効率的な分別収集・リサイクルの推進に資する先進的なモデル形成に取り組む市区町村を対象に、プラスチックの資源循環に関する先進的モデル形成支援事業の公募を行いました。

## 2. 採択結果

本支援事業の公募に対し6件の応募があり、申請書類等による審査を行った結果、以下6件の事業について採択しました。今後、採択事業の実施を通じて、採択市区町村とともに、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」の円滑な施行に向けて取り組めます。

市区町村名	事業名	事業の概要
松本市	プラスチック資源リサイクル 検証事業	実証事業において分別回収したプラスチック製品等の組成調査を実施するとともに、容器包装プラと製品プラの混合品のベール化の可能性について調査する。ベール化されたものを再商品化事業者で品質調査を行い、その結果を活用して、安定した再資源化の体制構築を目指す。
静岡市	LCAによる処理方法ごとの環境影響評価・経済性効果の検証	運搬コストや処理施設設置費用の増加等、プラスチック資源の分別収集をすることによる、環境面や経済面での検討、効果検証を行う。
京都市	プラスチック製品の分別回収に向けた社会実験	実証事業において分別回収したプラスチック製品等の組成調査を実施し、プラスチック製品の種類、材質、汚れ等の状態及び異物混入の状況を把握するとともに、分別回収、再商品化方法における環境影響や経済性の効果検証を行う。

<p>亀岡市</p>	<p>プラスチック一括回収へ向けたモデル事業</p>	<p>現状埋立てごみとして回収している製品プラについて、一括回収実証、組成調査を行い、プラスチック（容器包装プラと製品プラ、その他異物等）の混入率を算出し、また、市民啓発手法の調査・検討を行う。</p>
<p>大阪市</p>	<p>既存の中継施設を有効活用した効率的なリサイクル体制の整備に関する調査・検討及び異物混入防止に向けた市民啓発手法の検討事業</p>	<p>既存の中継施設（ストックヤード）を有効活用した効率的なリサイクル体制の整備（圧縮梱包設備の設置）に関する調査・検討及び異物（電池・バッテリー等）混入防止に向けた市民啓発手法の検討を行う。</p>
<p>倉敷市</p>	<p>プラスチック資源循環促進法を踏まえた市民の負担が少ない分別・処理スキームの検討</p>	<p>現状、燃やせるごみとして排出されているプラスチック資源について、組成分析を実施し、実態を把握する。また、どのようなリサイクル方法があるか処理施設等の検討を進めるとともに、市民への効果的な周知方法等について検討、制度導入時の効果検証を行い、新法を踏まえた最適な分別方法や処理スキームを検討するための基礎資料を作成する。</p>